

小さなことから始めよう!

～生協と地域のまちづくり～



開催日時：2018年2月7日（水）10：30～15：00
 開催場所：東京都生協連会館 3階会議室
 参加人数：73名（講師、事務局含む）
 参加生協：コープみらい、パルシステム東京、東都生協、自然派くらぶ
 生協、東京ほくと医療生協、東京ふれあい医療生協、東京保
 健生協、八王子保健生協、北多摩中央医療生協、日本生協連、
 東京都生協連
 主催：東京都生協連 福祉助け合い活動部会

10：30 開会、あいさつ
 10：35 基調講演
 11：50 昼食
 12：30 生協の活動報告
 13：30 グループワーク
 発表
 14：50 アンケート記入
 15：00 閉会



誰もが心地よく暮らせる社会や地域をつくるため、最前線をサポートしてきた牧野先生から、面白いまちづくりの事例やこれからの活動のヒントになるお話をお聞きしました。また、グループワークでは、自分たちの地域にはどんな宝物があるか出し合い、どんなつながりが出来るか考えながら交流を図りました。

司会：内藤祐子さん
 （コープみらい）

挨拶：間野 直
 （東京都生協連）



基調講演

牧野先生からは、「ちいさなく社会>をたくさんつくるーちいさなことから始める多世代みんなが主役のまちづくりー」について講演していただきました。今までにない切り口でのお話はとても楽しく、実際にまちづくりに関わっている先生だからこぞわかることや、様々な事例を具体的にお話しいただき、活動へのヒントをたくさんもらうことが出来ました。

●千葉県柏市の事例●

<高齢者世代>
 健康、お金、時間はある→生きがいが無い、寂しい
 <孫世代>
 両親が共働き→寂しい
 →寂しいどうしが一緒になると楽しいのでは？
 →みんなで自分の孫、他人の孫の面倒をみよう！
 →たくさんのジジババと孫たちで交流！

「タマゴプロジェクト」
 タマゴ＝他+孫（他人の孫）
 ＝多+孫（たくさんの孫）
 ⇒地域の子ども全体が自分の孫になる

- ・子どもとの交流が活性化
- ・学校行事を請け負う
- ・小中高校、特別支援学校と連携
- ・子育てに優しい地域との評判
- ・子育て世代が転入
- ・学校が学級増へ

<主役は子ども、担い手は大人>

生きがいをつなぐ

楽しい♪

誰かの役に立っている

活動へのヒント

みんなが社会をつくる主人公

子どもも大人も高齢者も、地域の住民として支え合える社会の大切さ

自分が誰かのためになれると思うことが今の社会を変える

人のつながりは地域も心も豊かになる

社会参加！「誰でも必ずできることがある」できないことを探して諦めるよりできることに目を向ける

全ては「楽しい」から始まる

小さくて顔の見える社会をたくさんつくる
 →ちょっとした信頼関係の中でお互いがお互いの背中を押しあう関係に
 ⇒楽しい社会へ！



多世代みんなが主役になるまちづくりを！

講師：牧野 篤 さん
 東京大学大学院
 教育学研究科教授



コープみらい
「福祉助け合い活動報告」

内藤 祐子さん
宗像 れい子さん



パルシステム東京
「地域の居場所
づくりについて」
茂木 利信さん



東都生協
「2017年度東都生協
の主な福祉の取り組み」
大浦 志保さん
佐藤 けさ穂さん



東京ほくと医療生協
「子ども食堂
『としま虹』経過報告」
油座 よしやさん



東京保健生協
「大塚診療所
『だんだんひろば』の
活動について」
佐藤 憲和さん



八王子保健生協
「いきいきらいふの会の
取り組み
～住民主体による
小規模多機能拠点～」
椎野 詠子さん



グループワーク、発表

●グループワークでは、自分たちの地域の「宝物」探しをしました。

地域が違って、共通する「宝物」が多く出されていました。

地域の宝物

生協、家族、子ども、友だち・仲間、ご近所、民生委員、組合員、在日外国人、元気な高齢者、商店街、空き家・空き店舗、学校（PTA）、保育園、高齢者施設、病院、図書館、自治会館、公園、銭湯、行政、社協、地域包括センター、NPO、町会・子ども会、ボランティア、人と人とのつながり、生協のつながり、生協の地域活動、誠意、真心、経験、笑顔、農産物、豊かな自然など



他にも・・・お祭り、花火大会、紅葉、寺・神社、運河、屋形船、空港、旧東海道、新国立劇場、ハチ公像、高尾山、温泉、牧場、日本酒、雷門、荒川ころばん体操、すこしお（減塩）健康チャレンジなど いろいろ♪

♡♡♡ アンケートより抜粋 ♡♡♡

- ・新しい社会の在り方を考えながらコミュニティをつくっていく必要があると思いました。
- ・事例の紹介が多く参考になりました。少子高齢化の問題を今までとは違う視点で見ることが出来ました。
- ・すべての人がフルメンバーの社会へという言葉が心に残りました。やってもらうのではなく、自分が主体的に考え、動くことが必要だと感じました。
- ・地域の活性化、人と人との結びつきから子どもも大人も高齢者も元気になれる社会づくり。素晴らしい取り組みだと思います。
- ・高齢社会に悲観的になってしまっていたところで、悲観的になるのはやめようという先生のお話は大変良かったです。自分が誰かのためになれるという自己肯定感が大切なのだと思いました。
- ・生協の役割の大切さを改めて感じました。